

声楽アンサンブル第 27 回定期演奏会
オラトリオ アンサンブル演奏会
The 27th Oratorio Ensemble Concert

2021.11.19.Friday

18:30 Start / 18:00 Open

洗足学園 前田ホール

△新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

ごあいさつ

本日は声楽アンサンブル第27回定期演奏会にお出かけくださりまして、誠にありがとうございました。

この演奏会は声楽コースの3本柱【歌曲・オペラ・宗教音楽】の一つである【宗教音楽】を学ぶ授業『アンサンブル実習』の、1年間の授業成果発表として開催致します。

昨年度よりのコロナ禍の中、リモート授業と対面授業というハイブリッド型での先生方のご指導の下、それぞれが個々の練習を重ね、本日の本番を迎える事が出来ました。

十分な感染予防対策をとりつつ、学生達の音楽の響き合う力を信じて、前へ進んで参りたいと思います。演奏させて頂く喜びに溢れた学生達の姿を、どうぞ最後までご高覧頂きますよう、お願い申し上げます。

洗足学園音楽大学 声楽コース
アカデミック・プロデューサー 塩田美奈子

プログラム

E.ダストルガ作曲／スターバト・マーテル
Emanuele d'Astorga (1680-1757) // Stabat Mater

～～ 休憩 ～～

M.A.シャルパンティエ/真夜中のミサ曲
Marc-Antoine Charpentier(1643-1704) // Messe de Minuit pour Noël

● E.ダストルガ作曲/スターバト・マーテル

エマヌエーレ・ダストルガ Emanuele d' Astorga の生涯について、あまり多くのことは分かっていない。1680年シチリアのアウグスタで生まれ、1693年に起きたヴァル・ディ・ノートの大地震の後、一家はパレルモへ移住し、そこで、アレッサンドロ・スカラッティの弟フランチェスコに音楽教育を受けたと推測されている。1698年にはオペラ《悪妻 La moglie nemica》が上演された記録があり、その同じ年に、父が母の殺害を目論みパレルモから追放されるという事件が起こる。4年後に父は市民権を回復しパレルモへ戻るが、まもなくエマヌエーレは親元を離れローマを訪れる。そこで出会った台本作家セバステアノー・ビアンカルディ Sebastiano Biancardi (1679-?)の台本でオペラ《ダフネ》を作曲し、ジェノヴァで上演する。偶然、それを後の神聖ローマ皇帝となるハプスブルグ家のカールが耳にし、バルセロナでの再演の機会を提供してもらう。1711年、カールが神聖ローマ皇帝となった際には、ウィーンへ同行するという幸運も得ている。しかし、1714年には多額の借金が原因でウィーンを去り、パレルモへ帰郷、結婚。3人の娘を儲けるが1721年には家族を残し単身でリスボンへ向かう。その後の活動について詳しいことは分かっていないが、1757年にマドリッドで亡くなっている。

ダストルガの代表作として今日まで頻りに演奏されるのはこの《スターバト・マーテル》である。この作品の手稿譜が複数ロンドンに現存している事実から、ダストルガが1713年にロンドンへ赴いたときに作曲されたと推測されている。作風はアレッサンドロ・スカラッティ Alessandro Scarlatti (1660-1725)から始まる「ナポリ楽派」の流れを汲み、宗教曲であってもオペラのアリアのような歌謡性に富んだ曲や、ルネサンスの対位法を重視した古様式 (Stile antico)を念頭に置いた曲もあり、それは後のペルゴレージ Giovanni Battista Pergolesi (1710-1736)の名作《スターバト・マーテル》をも想起させるものである。

福島 康晴

● M.A.シャルパンティエ/真夜中のミサ曲

『真夜中のミサ Messe de minuit pour Noël』はバロック期にフランスで活躍した作曲家のマルク＝アントワーヌ・シャルパンティエ Marc-Antoine Charpentier の作品である。シャルパンティエは1643年頃フランスのパリまたはその郊外で生まれたが、若いころの彼についてはあまり知られていない。1650年頃からローマに滞在していた記録があり、そこでジャコモ・カリッシミ Giacomo Carissimi (1605-1674)に作曲家としての手ほどきを受ける。1662年に帰国後は1680年1688年までパリのギーズ公のもとで音楽監督を務めていたが、1684年からはサン・ポール・サン・ルイ教会の楽長に、1698年にはサント・シャペルの楽長に就任した。シャルパンティエは教会音楽家として後半生を過ごしたことと、当時オペラの分野で絶対的な権力を保持していたジャン・バティスト・リュリ Jean-Baptiste Lully (1632-1687)からオペラ作曲への妨害にあったこともあり、彼の大半の作品は宗教音楽で占められている。

彼の500曲以上もの宗教曲の中でもとりわけ有名な作品の一つに、今回演奏する『真夜中のミサ』があげられる。この曲は降誕祭第1日の第1朝課のための作品であり、1690年に作曲された。特筆すべきは、この曲には当時フランスでよく知られていたノエルの旋律「ヨセフは善き妻をめとり」や「真夜中に知らせが鳴り響いた」等が計10曲もちりばめられている点である。また舞曲のガヴョットのリズム等も頻出し、非常に優美かつ快活な調子で曲が進む。素朴なノエルの旋律と流麗なオーケストレーション、そして目まぐるしく変化する曲調が組み合わさり、イエスの降誕を待ちわびる人々の心を躍らせる優れた名作となっている。

染谷 熱子

P R O G R A M

指揮:福島 康晴(本学講師)

演奏:洗足学園音楽大学 声楽アンサンブル実習履修生

洗足学園音楽大学 声楽公演オーケストラ

E.ダストルガ/スターバト・マートル

Emanuele d'Astorga(1680-1757)// Stabat Mater

1. Stabat Mater
2. O quam tristis et afflicta *Sop...作間 優奈, Ten...石津 秀悟, Bs...服部 聖人
3. Quis est homo *Sop...松本 明音, Alt...安井 円香, Ten...石津 秀悟, Bs...服部 聖人
4. Eia Mater
5. Sancta Mater *Sop...稲葉 みのり
6. Fac me tecum pie flere *Alt...上原 愛美, Ten...佐久間 涼平
7. Virgo virginum praeclara
8. Fac me plagis vulnerari *Bs...鈴木 諒汰
9. Christe, cun sit hinc exire

M.A.シャルパンティエ/真夜中のミサ曲

Marc-Antoine Charpentier(1643-1704)// Messe de Minuit pour Noël

[Kyrie]

1. Kyrie I
2. Christe eleison * Alt...菅原 智里, Ten...菊地 健太, Bs...鈴木 諒汰
3. Kyrie II

[Gloria]

4. Et in terra pax
5. Laudamus te
6. Gratias agimus tibi
7. Domine Deus Rex coelestis * Alt...菅原 智里, Ten...菊地 健太, Bs...鈴木 諒汰
8. Quoniam tu solus sanctus *Sop. I...三澤 悠華, Sop. II...岸 佳那子
9. Amen

[Credo]

10. Patrem omnipotentem
11. Deum de Deo
12. Genitum, non factum
13. Et incarnatus est
14. Crucifixus *Alt...前川 乃慧, Ten...村田 耕太郎, Bs...服部 聖人
15. Et ascendit in coelum
16. Et in Spiritum Sanctum *Sop. I...櫻井 千春, Alt. I...行場 結佳, Alt. II...大岡 笑子
17. Et unam sanctam *Alt...前川 乃慧, Ten...村田 耕太郎, Bs...服部 聖人

[Sanctus e Benedictus]

18. Sanctus
19. Benedictus *Alt...佐々木 遥, Ten...水田 舜大, Bs...鈴木 諒汰
20. Agnus Dei *Alt...佐々木 遥, Ten...水田 舜大, Bs...鈴木 諒汰

福島 康晴 (ふくしま やすはる)

東京音楽大学大学院作曲科修了後、バロック音楽に傾倒し声楽を牧野正人氏に師事。その後ミラノ市立音楽院古楽科にてD. フラテッリ氏の下でルネッサンスのポリフォニーを学ぶ。同時に指揮科にも在籍し、R.リヴォルタ氏に師事する。帰国後、テノールとして日本の主要な古楽団体と共演するほか、自ら古楽アンサンブル《エクス・ノーヴォ》を立ち上げ指揮活動を行っている。また、16～17世紀イタリアの音楽理論に精通し、セミナーや講習会などで講演も行っている。洗足学園音楽大学、上野学園大学非常勤講師。

上蘭 未佳 (うえその みか)

洗足学園大学音楽学部ピアノ科を優秀賞で卒業。同大学専攻科音楽学修了。その後、渡仏。ストラスブール国立音楽院チェンバロ科を首席で卒業。帰国後、ソロ、通奏低音奏者として演奏活動、後進の指導に当たる。洗足学園音楽大学、東海大学非常勤講師。<http://mikau.jp>

自然と花とチェンバロのYouTubeチャンネル開設中。HYPERLINK

https://www.youtube.com/channel/UCtxsq1NNROYhRNZbEyge4dA?view_as=subscriber

金子 浩 (かねこ ひろし)

桐朋学園大学古楽器科卒業。オランダのデン・ハーグ王立音楽院に留学し、リュート科教師ディプロマ及びソリスト・ディプロマを取得。'97年帰国。ブルージュ国際古楽コンクール入選。「ハッハ・コレギウム・ジャパン」、「コンバティメント・コンソート・アムステルダム」、「声楽アンサンブル・ラ・フォンテヴェルデ」、「ラ・ムジカコッラーナ」、「アンサンブル・コントラポント」などの通奏低音奏者としての演奏会、レコーディングに参加する。NHK ラジオ、テレビ番組等に出演。上野学園大学エオリアンホールにて、バッハの自筆譜(BWV998)の展示と共に、そのリュートの為の作品を演奏する。ソロCD「ハートランド～リュートで聴く名曲集、究極のベスト100」は、リュートによるジャンルにこだわらない初の録音で、エイベックス・クラシックスより再販されている。洗足学園音楽大学非常勤講師。

M e m b e r

洗足学園音楽大学 声楽アンサンブル実習履修生

学部2年	雨森 あかね 高村 美友	石津 秀悟 CHEN QIMING	菊地 健太	小林 瑠菜 中森 優衣	鈴木 諒汰		
学部3年	石井 杏実 佐々木 遥	井上 こころ 齋藤 遥歩	奥山 雅子 菅原 智里	岸 佳那子 高岡 未侑	行場 結佳 立田 紗音理	小林 礼乃 宮根 千翔	
学部4年	稲葉 みのり 前川 乃慧	上原 愛美 松本 明音	大岡 笑子 三澤 悠華	櫻井 千春 水田 舜大	作間 優奈 安井 円香	新澤 彩香	
賛助出演	佐久間 涼平 <small>(声楽2年)</small>		奥 大樹 <small>(声楽4年)</small>				
演奏補助要員	村田 耕太郎	服部 聖人	牧山 亮				

洗足学園音楽大学 声楽公演オーケストラ

Concertmistress	宍戸 育実 <small>(院1)</small>						
Violin	井上 海燦 <small>(学3)</small>	頼近 友莉奈 <small>(学3)</small>	勝部 小夏 <small>(学2)</small>				
Viola	山下 智史 <small>(学4)</small>						
Cello	有馬 憧 <small>(院2)</small>						
Contrabass	嶋野 晴斗 <small>(学4)</small>						
Flute	山崎 春奈 <small>(院2)</small>	間木平 美和 <small>(院1)</small>					
Fagot	上治 唯奏 <small>(学3)</small>						
Organ	上園 未佳 [#]						
Tiorba	金子 浩 [#]						

声楽アンサンブル実習 担当指導教員

声楽指導	加未 徹 <small>(講師)</small>	染谷 熱子 <small>(講師)</small>	馬場 由香 <small>(講師)</small>	福島 康晴 <small>(講師)</small>	上園 未佳 <small>(講師)</small>
ピアノ	竹崎 聡子 [♪]	森合 爽子 [♪]	富田 愛佳 [♪]		

#...講師

♪...演奏補助要員